

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【公開番号】特開 2019-84210 (P2019-84210A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-021
 【出願番号】特願 2017-216398 (P2017-216398)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
表示手段と、

第 1 状態および第 2 状態を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、
前記演出制御手段は、

前記第 1 状態において、該第 1 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第 1 残り回数が当該第 1 状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に特定表示を行わせることにより該第 1 残り回数を示唆する第 1 制御を行う第 1 制御手段と、

前記第 2 状態において、該第 2 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第 2 残り回数が当該第 2 状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に前記特定表示を行わせることなく該第 2 残り回数を示唆する第 2 制御を行う第 2 制御手段と、

前記第 1 状態および前記第 2 状態において、遊技結果を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、を含み、

前記示唆演出手段が前記示唆演出を実行する確率は、前記第 1 状態に制御されているときの方が、前記第 2 状態に制御されているときよりも低く、

前記特定表示が行われるときに、特定音を出力可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 遊技を行うことが可能な遊技機であって、
表示手段と、

第 1 状態および第 2 状態を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手

段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記第 1 状態において、該第 1 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第 1 残り回数が当該第 1 状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に特定表示を行わせることにより該第 1 残り回数を示唆する第 1 制御を行う第 1 制御手段と、

前記第 2 状態において、該第 2 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数である第 2 残り回数が当該第 2 状態にかかる所定回数よりも少なくなったときに、前記表示手段に前記特定表示を行わせることなく該第 2 残り回数を示唆する第 2 制御を行う第 2 制御手段と、

前記第 1 状態および前記第 2 状態において、遊技結果を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出手段と、を含み、

前記示唆演出手段が前記示唆演出を実行する確率は、前記第 1 状態に制御されているときの方が、前記第 2 状態に制御されているときよりも低く、

前記特定表示が行われるときに、特定音を出力可能である。

遊技機は、以下のように構成されてもよい。

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機（たとえば、遊技機 1 ）であって、

第 1 状態（たとえば、第 1 特定状態）および第 2 状態（たとえば、第 2 特定状態）を含む複数種類の状態のうちの一の状態に制御する状態制御手段（たとえば、メイン制御部 4 1 ）と、

前記第 1 状態において、該第 1 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数が所定回数よりも少なくなったときに、該残り回数を示唆する第 1 制御を行う第 1 制御手段（たとえば、第 1 特定制御を行うサブ制御部 9 1 ）と、

前記第 2 状態において、該第 2 状態への制御が終了するまでの単位遊技の残り回数が所定回数よりも少なくなったときに、前記第 1 制御とは異なる第 2 制御を行う第 2 制御手段（たとえば、第 2 特定制御を行うサブ制御部 9 1 ）とを備える。